

幡羅遺跡ファンクラブ会報

# ハラ君通信

ほろ酔い中。



2017年（平成29年）11月11日発行 第2号☆

## はら 幡羅遺跡ファンクラブは 幡羅遺跡の国史跡指定 を応援します！

幡羅遺跡が、1300年もの間、開発で壊され  
ることなく、良い状態で残っていることは、ほん  
とうにすごいことです。

私たちの時代だけでなく、未来に本物の遺跡を  
残していくために、国の史跡指定を受けられるよ  
う、応援していきたいと思います。国の指定がさ  
れば、原則、現状保存となり、法律で遺跡が守  
られることとなります。皆様のご声援をよろしく  
お願いします。

さて、秋も深まって参りましたが、幡羅遺跡フ  
ァンクラブは、夏の間、活動が2回ありまし  
た。「三日<sup>くりや</sup>厨の会」（暑気払い）と遺跡の見学会  
を兼ねた遠足です。ハラファン会員の方々と一緒  
に活動して、同じ時間や思い出を共有できること  
は、とても楽しいことです。今回活動に参加出  
来なかった方々も、これからも活動がありますの  
で、良ければ参加して下さい！

お米大好き



## <第2回活動報告>

「三日<sup>くりや</sup>厨の会」暑気払い



深谷 きんとう旅館にて  
2017年7月21日（金）

幡羅遺跡の「館」で、郡司をおもてなしするた  
めに、3夜連続で催された宴会「三日<sup>くりや</sup>厨」と  
は、どのようなものだったのでしょうか？豪華な  
料理ってどんな感じ？余興は？想像がふくらん  
で、楽しくなってきたので、研究することにしま  
した。とにかく宴会を開いてみよう、夏だから暑  
気払いをすることにしました。

きんとう旅館は、江戸時代末期に中仙道深谷宿  
の旅籠<sup>はたご</sup>だったところで、創業180年の歴史のあ  
るところです。深谷七夕祭りの時に、きんとうの  
料理の「だし」を試飲させてもらいましたが、と  
てもおいしいのです。

昼間は、それぞれの仕事や家事を済ませて、ハ  
ラファン会員+α、29名が夜6時から集まりま  
した。（+あるふあは、発掘の調査員の方が4名  
参加してくださいました）平成版の宴会料理は、  
奈良&平安貴族の食事と比べて、忖<sup>そんたく</sup>度なしでも、  
かなり豪華です。海の幸と山の幸の食材を使っ  
て、調味料や調理方法も色々あるし、お酒だって

何種類もあります。甘いジュースや炭酸飲料まであるのです。

それで、余興はというと、奈良&平安時代だったら、雅楽とか舞を舞ったりするのでしょうかけれど、平成版はなんといいても、カラオケです。

歌の好きな方や、発掘の調査員の方々が順番に歌ってくれたので、楽しい宴会になりました。

(特にトップバッターで歌ってくれた幾島さん、ありがとうございました!)皆さんの歌が上手なので、感心しました。仕事場では、普段見ることのできない一面を見ることが出来て、面白いです。このままずっと、歌を聴いていたかったのですが、終わりの時間になったので、<sup>しめ</sup>をすることになりました。ちょっとした手違いで、5番までであり、(メの仕方も色々あるんですね!)なかなか宴会が終わらなくて、少し不安になりましたが、無事に終わることが出来て良かったです。

奈良&平安時代なら、あと二夜連続であるわけですが、平成版は一晩で終わりです(笑)

## <第3回活動報告>

<sup>ちがさき</sup>  
夏の茅ヶ崎遠足(神奈川県)

<sup>しもてらおかんが</sup> <sup>たかくらぐうけ</sup>  
下寺尾官衙遺跡群(高座郡家

<sup>にしかた</sup>  
西方遺跡第4次確認調査)の

### 現地説明会に行く

2017年8月11日(金)

また、雨ですか……。

(今日も、どこかに雨男がいるのでしょうか?)

朝6時30分、深谷駅改札前集合です。ちょっと早いですが、ハラファン会員6名は、午前10時からの現地説明会に間に合うよう、電車で向かいました。最寄り駅のJR相模線「香川駅」まで、2時間半ほどかかります。「香川駅」は

「茅ヶ崎駅」から2駅分(相模湾より北に5km)内陸に入ったところにあり、海は見えません。(茅ヶ崎の海が見たかった……)さらに現地説明会がある<sup>ほくりょう</sup>県立北稜高校まで、15分歩きます。最初はなだらかですが、途中から、海じゃなくて、山に登るの?と思うくらいの急な坂で、息も苦しくなった頃、到着です。景色が開けます。

高座郡家は、高い丘の上にあります。

2002年(平成14)、高校を建て替えようとした際の事前調査で、敷地内から高座郡家の郡庁・正倉跡が発見されました。その後も高校の周辺から、船着き場や祭祀場などが発見され、先に確認されていた寺院跡と合わせて保存することになったそうです。その保存方法が驚きなのです!

大事な遺跡を守るため、茅ヶ崎の市民や研究団体、自治体の職員の方々が協力して、伝統ある県立高校を移転させることに決めたのでした。

そして、下寺尾官衙遺跡群は、2015年(平成27)国の史跡指定になったということです。

時折、小雨が降ってきます。茅ヶ崎市教育委員会の大村浩司さんが解説してくれました。大村さんは自称雨男だそうです!(今日は、雨男が2人もいるわけですか……)

高校の建物の基礎部分の区画の中に遺跡があります。基礎部分はコンクリートで、男の人の背丈ほど大きくて、どっしりして迫力があります。昭和の遺構とも言えます。

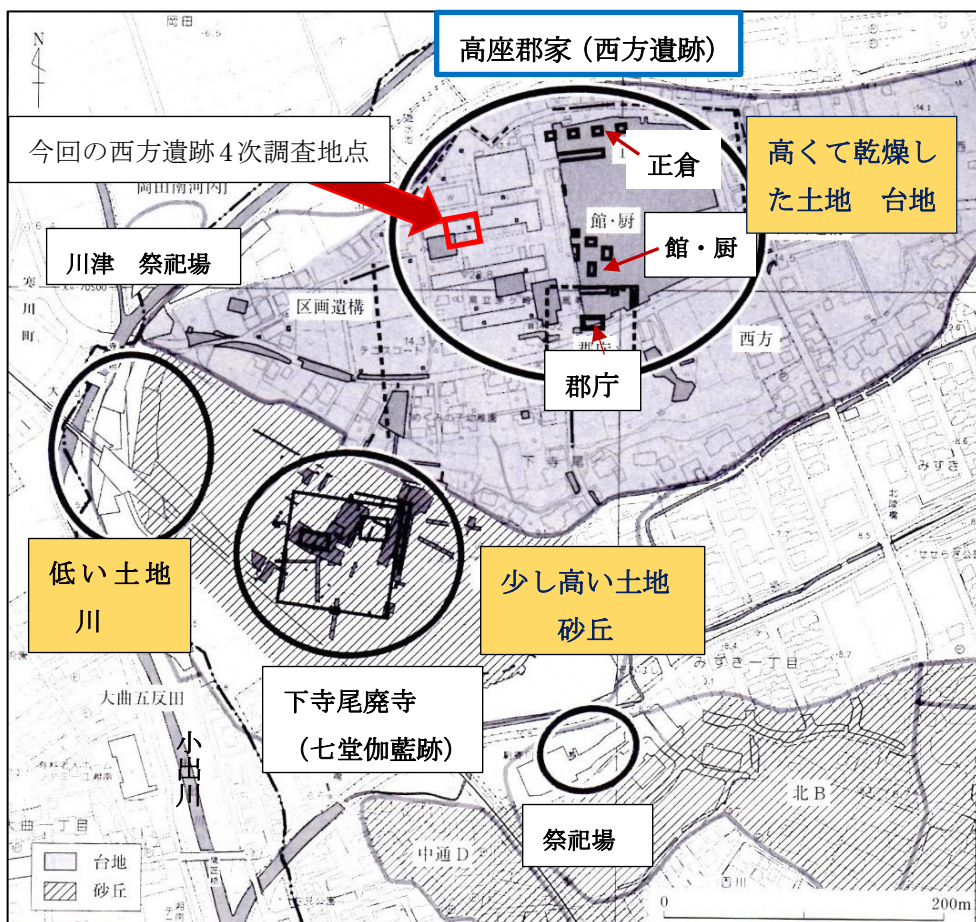


今回の西方遺跡 4 次確認調査では、大型の掘立柱建物が 2 棟検出されました。(用途は不明)

もう国指定になっている遺跡なので、一部だけ掘って、後は掘らない確認調査だそうです。現状保存が原則で、発掘するときは、文化庁の許可が必要になります。将来、考古学や発掘の技術が進歩して再び発掘をする時のため、未来の人たちに残しておくのだそうです。

その後、下寺尾官衙遺跡群めぐりをしました。狭い範囲の中に高座郡家、下寺尾廃寺、祭祀場があるので、30 分くらいで歩けるのです。高座郡家の郡庁跡の横を歩いて通りに出て、大岡越前通りを下ると、下寺尾廃寺があります。国指定のきっかけになった石碑がたっていて、説明書きがあります。今年でなんと建碑 60 周年だそうです。(60 年前から、茅ヶ崎市民はこの遺跡のファンだったんですね。) そこから小出川の方にゆるやかに歩いて下ると、祭祀場がありました。

### 下寺尾官衙遺跡群の全体図



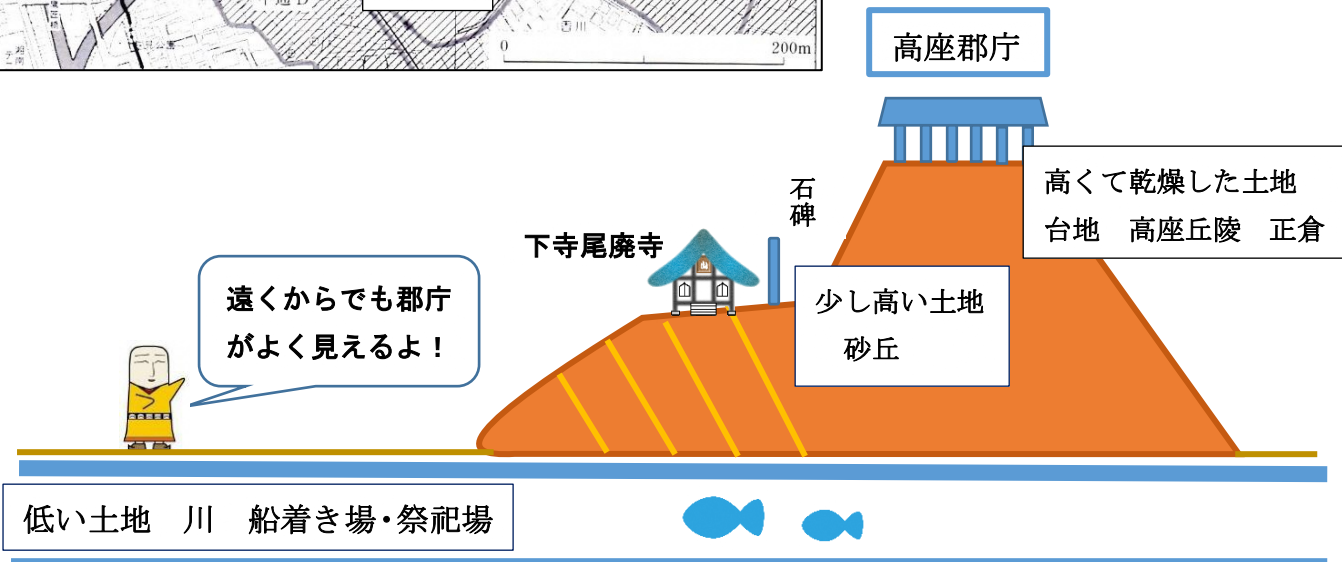
下寺尾官衙遺跡群は、茅ヶ崎市下寺尾に位置し、相模(さがみ)国、高座郡家のある西方遺跡と下寺尾廃寺(七堂伽藍跡)と祭祀場などで、構成されています。

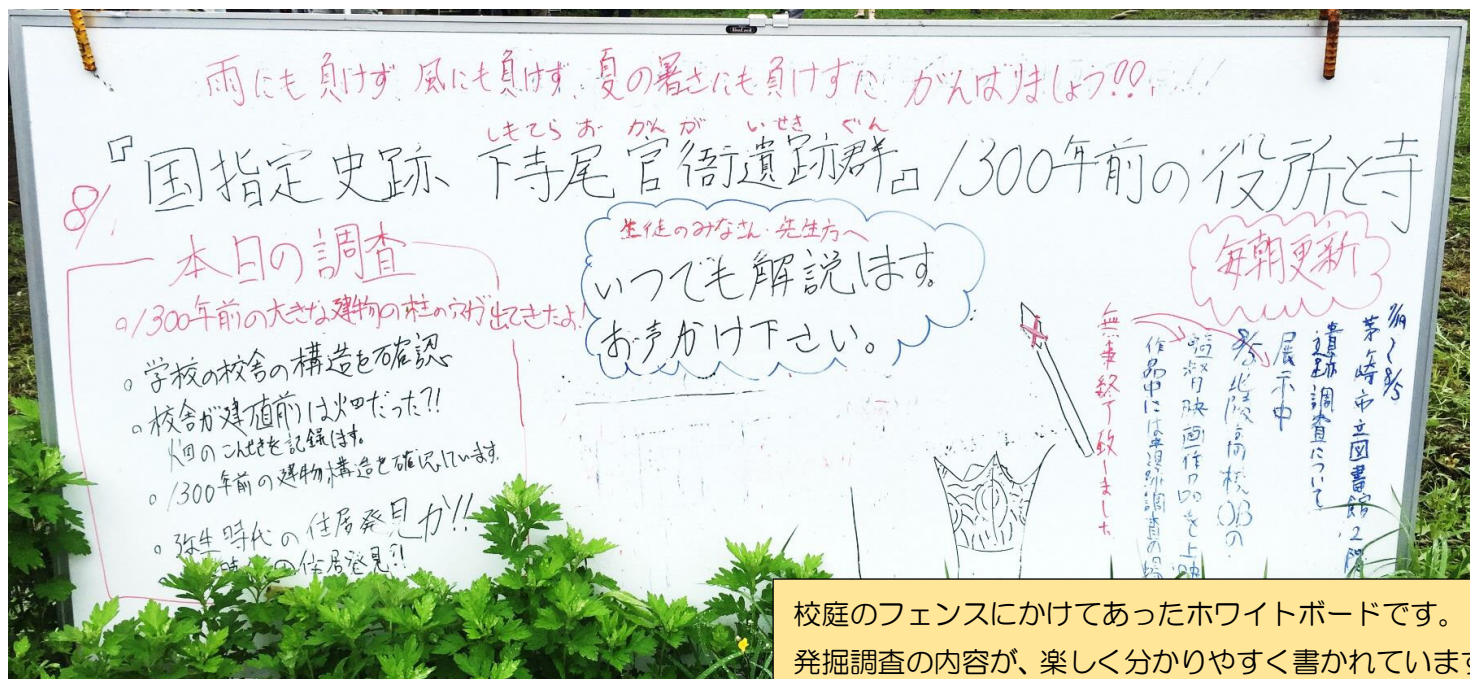
#### ※ハラ君まめ知識※

郡役所・寺院・祭祀場の跡がそろっている珍しい遺跡は、全国で 3 か所だけ！



下寺尾官衙遺跡群(神奈川県茅ヶ崎市) 弥勒寺(みろくじ)官衙遺跡群(岐阜県関市) そして、僕らの 幡羅官衙遺跡群(埼玉県深谷市・熊谷市) だよ！





校庭のフェンスにかけてあったホワイトボードです。発掘調査の内容が、楽しく分かりやすく書かれています。北陵高校の生徒さん達が、部活の最中、ジョギング途中にでも読めるようになっています。少しでも遺跡に興味を持ってくれたらいいなと思って、調査員の方が毎日書いているのだそうです。

夏休み中だったため、現地説明会は、歴史ファンや家族連れなど、多くの方々がいらしていました。北陵高校の生徒さん達は、まだ校舎の移転が済んでいないので、校舎周辺で部活をしていました。本当に高校の敷地の中にある遺跡なのだな、と実感しました。

「重みのある遺跡でしたね・・・」というのは、T木さんの感想です。コンクリートの基礎部分が、重厚感があって、かえって遺跡の価値を高めている、というのです。校舎を移転するといっても、基礎部分をどこかで遺跡を破壊してしまうため、コンクリートの基礎部分と、高座郡家の遺跡が共存している状態です。でも、その言葉を聞いて、遺跡の保存という意味では、マイナスなのかもしれないけれど、プラスの面もあることに気づきました。コンクリートの基礎部分は、ビジュアル的には、どっしりとして迫力があり、廃墟のような怖さもあり、でもなんだかちょっと、かっこいい気がしてきました。軍艦島だとか、ダム建設現場や工場の夜景など、人工的な建造物にも魅力を感じる人が増えてきています。遺跡を観光資源として活用すると考えるなら、景観としては面白くて、郡役所の遺跡も魅力的だけど、その上のコンクリートの基礎部分も魅力的だということになります。(ハンバーグの上に、エビフライが

乗っているようなもの?)  
下寺尾官衙遺跡群は、写真じゃなくて、実物を見たほうが良いと思います。

下寺尾廃寺の説明書きを読んでいたT田さんから、出土した遺物の「軸端(じくたん)」ってなんだろう?と質問が出ました。知久さんによると、それは、巻物などの木製軸の端部につける金具だそうです。巻物自体は長い年月で失われても、軸端が出土したおかげで、巻物が存在したことがわかり、そういう遺物が出てきたから、寺院跡だと裏付けられるのですね!皆で出かけると、自分では気づけない疑問が出てくるのが面白いです。

最後に、遠足のお楽しみ、ランチは高座郡家の丘のふもとにある、おしゃれな古民家カフェで食べました。

茅ヶ崎は、海だけじゃなくて、郡役所もおしゃれな古民家カフェもあります。ぜひ次回是一緒に行きましょう!ところで、帰りもやっぱり雨が降っていたのですが、不思議なことですね。

